

# 「現代文Ⅲ」の特長と使い方

## ●本書のねらい

このテキストは、大学入試に対応できる現代文読解力を養うことを目的としてつくられたものです。

大学入試をはじめとするテストにおいては、読解したことを答案に適切に表現しない限り、得点は与えられません。文章の内容が正しく読み取れていても、細部への注意を怠って答案としての表現が稚拙であった場合、内容がよく読み取れていないと判断されます。このテキストでは、ジャンル別におさめたさまざまな文章を読んで設問に答えることにより、読解力とともに答案として表現する力を養うことにねらいを置いています。

## ●本書の特色

○このテキストでは、文章をジャンル別に分け、さらに入試によく出されるテーマ別に分けて各回でとりあげています。

○各回の「演習1」では、比較的短くて易しい文章を、後半の四ページでは入試標準レベルの長文をとりあげることにより、段階を追った学習ができるようになっていきます。

○解答を書き込むスペースをじゅうぶんにとり、答案作成の練習ができるようになっていきます。

○各回についている「基本確認演習」で、漢字・語句・文法・文学史の知識が確認できます。

## ●本書の構成と使い方

○演習1……………比較的短くて易しい文章による演習問題です。基本的な問題が確実に解けるようになることをねらいとしています。

○基本確認演習……………漢字の読み書き、語句・文法・文学史の知識を確認します。

○演習2・演習3……………入試標準レベルの問題で、現代文の読解力と表現力を完全なものにすることをねらいとしています。

○実力判定テスト……………現代文の読解力を試すためのテストです。

《解答・解説》(別冊)……………解答例とともに、詳しい「解説」がついています。

# 目次

1	評論(1)——日本・日本人の特性……………	4
2	評論(2)——青春を生きるとは……………	10
3	評論(3)——文化の根底に潜むもの……………	16
4	評論(4)——現代文明の危機……………	22
5	評論(5)——情報と伝達……………	28
6	評論(6)——言葉と表現……………	34
7	評論(7)——作家と作品……………	40
8	評論(8)——文学・芸術と「人」とのかかわり……………	46
9	随筆(1)——人生をみつめる……………	52
10	随筆(2)——旅におもむ……………	58
11	随筆(3)——「あそび」のもつ意味……………	64
12	随筆(4)——言葉のあれこれ……………	70
13	小説(1)——若き日のおののきの中で……………	76
14	小説(2)——血の絆のはざまに……………	82
15	小説(3)——「神」と対するとき……………	88
16	小説(4)——歴史にロマンを求めて……………	94
17	韻文(1)——詩と詩論……………	100
18	韻文(2)——短歌と俳句……………	106
◆	実力判定テスト(1)……………	112
◆	実力判定テスト(2)……………	118
◆	実力判定テスト(3)……………	124